

## 27. 柴野 雅人氏（北九州市立大学）

『ここぞ』というときの市民力が強いまちに。これまで培ってきた市民力は大きなレガシー。」



柴野 雅人（しばのまさと）

北九州市八幡西区出身。

北九州市立大学 地域創生学群 4年。

大学 2年時に自治会・町内会活動の盛り上げを目指し『学生団体あわいのひと』を立ち上げ。

大学 3年時から、北九州市の若者ネットワーク『Kitakyu U29(キタキューユニーク)』に所属。

現在も若者目線のまちの課題解決に奮闘中。

### 「これまで培ってきた『市民力』は大きなレガシー」

北九州市が過去から引き継いでいくべき一番のレガシーは市民力です。北九州市誕生以来60年の歴史の中で、公害の克服、到津の森の復活、発祥の焼うどん文化の継承、北九州市民劇場、そして根底にある市民の自治意識は大きな魅力です。行政に丸投げしない姿勢が市民力につながっていると考えています。

### 「活かすべきポテンシャルは豊富」

市民力を筆頭に、北九州市は色々なポテンシャルを持っていると思います。先日、門司港周辺をめぐりましたが、一つ一つの施設の充実度がとても高いと感じたところです。一例をあげると「門司港レトロ展望台」。楽しいだけでなく学びの展示もしっかりとあります。

一方、建物の内部やエリアのいす・テーブルのレイアウトなど、ちょっとしたところがアップデートされてない印象を受けます。その辺りが、東京や福岡市と比べると「惜しい」と思うところです。展望台に限らず、広いスペースの一部をコワーキングスペースにするなど、既存の施設の見せ方については、アナログ、デジタル両面で工夫ができると考えます。

また、皿倉山の夜景はとても好きです。子どもころも行きましたが、大人になって改めて見ると「すごい」と感じます。ソフト面で

も、夏季にビアガーデンはありますが、今後は、例えば山頂でのアクティビティの実施など、季節を問わず長居できるような過ごし方、食以外でも観光客を滞留させるコンテンツも考えていく必要があるのではないのでしょうか。

### 「北九州市民の内発的イメージの向上を」

北九州市の人は普段はとてもシャイだと感じますが、飲むとワーツとしゃべる、という気質だと思います。世間的なイメージとして「修羅の国」などと言われ、良いまちなのに、「良いと言っはいけないのでは?」、という雰囲気があり、そのバイアスはとても惜しい気がします。いわゆる「北九州いじり」が続いている状況ですが、実際は、成人式の派手な格好がニューヨークで評価されていたりしているので、まずは市民（若者）の個人単位での発信からポジティブなものにすることで、内発的なイメージが良くなっていくのではないのでしょうか。

### 「北九州市のオリジナリティを大切に」

私は、来年、就職のために東京に出る予定で、正確には未だ社会人として北九州市のまちを見ることはできていないのですが、福岡市とライバルで競う必要はないのではないと感じています。すでに1カ月の間、東京でインターンを経験してきましたが、北九州市の住みやすさ

は圧倒的です。元気の森、こどもの館、皿倉山、平尾台などなど、ここで遊び、学びながら過ごせたことは自分の人生の財産として、数字では測れないものが得られました。

したがって、それぞれが唯一無二の都市として、北九州市は北九州市独自の良さを持っているので、暮らしやすさや自然と都会の程よいコンパクトさなど、オリジナルな魅力を大切にしたいと思います。

### 「起業や移住のロールモデルをつくる」

私は、いったん就職で東京に行きますが、「いつか必ず北九州市に帰る」、とすでに会社に伝えています。ゆえに、スタートアップ支援は是非とも継続して欲しいと願っています。この分野の支援については、九州の中でも手厚いのではないのでしょうか。起業や移住をされた方のロールモデルを増やし、雇用をつくり、数値で実績を示していく、どこまで数字で結果を出していけるか、ということが重要だと思います。

その他には、高齢化率が高くなる中で、福祉に従事する若者を大切にしたいと感じます。春から社会福祉士になる友人がいるのですが、話していると多くの課題があることが分かりました。仕事内容は大変で、時間的拘束も長く、かつ給料も安い。これでは家庭を持つことができないと思われてしまいます。

しかし、北九州市ならしっかり稼いで暮らしていける、という方向に持っていければ、きっと良くなるのではないかと感じています。勤務時間や役割分担を工夫することで、若くして福祉業界に入っても、家庭を持ち、子育てなどと両立しながらやっていけるよ、と言えるまちになって欲しいと思います。

### 「ここぞというときの市民力が強いまちに」

北九州市には、「ここぞというときの市民力が強いまち」であって欲しいと思います。現在、私は自治会を盛り上げる活動をしています。

ご近所単位の自治の力はすごく大切だと感じます。「自分たちの地域は自分たちでよくする」という意識付けが重要で、それが広がりこそがまさに都市を形成しているのだと思います。

「ここぞ」という言葉を使いましたが、北九州市民は日ごろはちょっと消極的でネガティブな反応をしてしまっているのでは？と感じます。しかし、心の奥底は燃えているのが北九州市民。それが「ここぞ」で発揮されたら良いと思うのです。さらに言えば、そのような想いを20・30代が発信に変えていけるような場ができれば、想いが形になると思います。

そのような想いが発揮される場においては、意識の高い学生だけが集まるだけでなく、常に風通しのよい状態で、デジタルやアナログの面でも活用されるような形になれば良いですね。様々な市民の声が拾え、反映される、ということが常にアップデートされ続けるまちであってほしいと思います。